

「奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり」に参加しました!!

古代と今が出会う 奈良のいいとこ冬まつり
～大立山まつりから新しいまつりへ～



四天王を象った大立山

1月26日(土)・27日(日)に新しい年を迎えた世界遺産・平城宮跡の朱雀門前ひろばにおいて、奈良の伝統と歴史、講話や体験、おいしいものにおみやげものが一堂に集まる「奈良大立山まつり2019 奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり」が開催されました。



大和牛と安堵町産の野菜をふんだんに使用!!



両日の来場者は約23,000人となり、両日ともに開催された「地域自慢のあったかもんの特産品」には、39市町村が揃い安堵町からは、「第1回あったかもんグランプリ」から出店している夢あかり(安燈会)実行委員会のあったかもん「ほっとあんど芋煮鍋」と「芋煮出汁特製カレーうどん」を出店しました。カレーうどんには、町内の製造業のイシメン株式会社から三代目 石田製麺所の“プレミアムうどん”のゆでうどんを使用し、寒波に見舞われた初日から尽力的なPR活動を経て、予定食数700食を完売し大盛況でした。

また、地域の特産品には、イシメン株式会社が両日出店し盛況でした。会場中央に設営された奈良県に伝わる伝統芸能やおまつりを披露する特設ステージでは、安堵町の「なもで踊り」が披露され、地域で受け継がれる魅力を魅せ観覧者を魅了しました。



「なもで踊り」披露風景